

卓話『我が社(IDS)設立までの話』 岡谷商工会議所会頭 小林睦巳会員

◆会長挨拶

近くの自動車教習所に若い学生さんが増えて賑やかになっており、卒業式のシーズンを迎えたことを感じています。

今年4月より3月末日まで、東堀区の公民館である「柴宮館」の館長を務めさせて頂きました。公民館は、市町村が住民の福祉を促進するために設置する施設と地方自治法に規定され、市内では川岸・長地・湊公民館が設置されています。

その他、社会教育法に定める市町村以外の団体などが設置・運営する公民館類似施設が各区にある公民館、区民センター、公会所が該当します。

私は東堀区の住民で、東堀区が設置・運営する法的には公民館類似施設に該当する「柴宮館」の館長を1年間拝命したわけです。

公民館は、生涯学習の推進、地域文化の発展、住民の交流、地域情報の共有と支援、健康福祉の増進などを目的に活動することになっており、柴宮館では館長の他、副館長、主事、会計の四役の下に、社会部、教養部、文化部が組織され区民納涼祭、各種講座（今年は写経とタイルクラフト）、正八幡例大祭前夜祭カラオケ大会、区民運動会、区民作品展、区民芸能祭などを各種団体と共に開催しました。

東堀区は北は小萩から南は権現までと南北に長く、住民は減少傾向にあるもののおよそ8,000人（原村に相当）が居住していますが、小萩や柴宮といった古くからの地域は高齢化と共に人口減少（空き家の増加）がある一方、線路より南の御所や権現では転入者の増加により若い世代の流入があるといった2面性をもった区となっています。

これらは防災や高齢者支援など、町内や隣組を基本とした活動にも影響を及ぼしています。今後、少子高齢社会の中で大変難しい課題ではありますが、一番身近なコミュニティである区の在り方を考えるタイミングになっていると、公民館の仕事を通じ感じたところです。現区長さんの考えは、とにかくコロナで中止となった公民館事業を復活させ、まずは顔の見える関係づくりを推進したいとのこと。

ロータリークラブの活動でもこのような地域課題に向けて、何か糸口を掴みたいものと感じています。

本日の卓話は、小林睦巳会員にお願い致しました。岡谷商工会議所会頭やアイデアシステム創業者等のお立場から、貴重なお話を頂けると思います。何卒宜しくお願い致します。

◆地区出向委員 委嘱状

RLI副委員長 山崎廣和会員 / R財団地区補助金小委員会 委員 吉池雅志会員 / 公共イメージ向上委員会 委員 内澤伸治会員



◆次年度会長報告 宮坂好史会員

・本日理事会25-26年度組織について 小口陽一会員が副幹事に決定

Rotary



2024-2025年度 RIテーマ

ロータリーのマジック



ロータリーのマジック

■ 岡谷エコロータリークラブ事務局

〒394-0081 長野県岡谷市長地権現町3-2-45(マリオ内)
TEL/FAX 0266-26-7600 E-mail:ri2600@okaya-echo.jp
http://www.okayaecho-rotary.club

◆幹事報告

- ・3月18日(火) 2クラブ(岡谷RC・エコーRC) 合同夜間例会 6時30分点鐘 場所:メモリー(最終出欠確認)
- ・後期会費の領収書 ※各自BOX

◆委員会・同好会報告

《旅美学・酒食学・写学》

- ・3月14日・15日大阪みなみ・道頓堀・キタ(梅田) なんばグランド花月と大阪満喫の旅 マリオ7:00出発

◆卓話

担当:プログラム委員会



◆「我が社(IDS)設立までの話」 小林睦巳会員

長田会員から例会にもっと出るようRCに貢献をと卓話を依頼されました。今まで卓話は何度もやらせてもらっていますが(商工会議所や会社案内等)今日は我が社を設立した時の背景や失敗談などお話しします。

50～60年前の話なので役に立たないかもしれませんが・・・

◎岡谷商工会議所

会頭も今年で6年目、あと7ヶ月で卒業。街中活性化事業を具体化し諏訪地域協力し合う事に動いていく。

◎私は30歳(今から51年前)東京で独立。4年で見事失敗。Uターン。再起を図り、40歳で再度SND設立。43歳でアイデアシステムを設立。現在は3代目でIDSが何とか40年になる。希望どおりにはいかないが、継続。

■IDSとは25年間はSNDとIDSで2.5次産業(造語)と言って「メーカーと商社の1体企業」

①SND:電子素材販売、電子機器、IDSの営業

②IDS:実装、情報通信システム(監視システム、画像管理システム)、受託開発

現在はIDSとILC(介護用車いす等、介護機器)

■それがどうしてできたか?

私はかつて3つのカルチャーショックを経験した

①18歳(63年前)岡工から東京の日立製作所足立工場に(品行方正、学術優等)で入社。

当時特急がないので亀有まで6時間かかった。ここは輸送機械と建設機器を製造。社員は7000人。半年の実習を経て建設機械の設計に配属された。

1回目のショック 400人のエンジニアが居た。その内

半数以上が東大工学部卒、院卒で学閥。田舎から勇んで出てきた青年が世の中の広さを痛感した。

日立は良い会社で高卒男子は2年間仕事半分、勉強半分教室を持ち、先生は沢山いた。2年後、選抜試験で40倍の狭き門をくぐり、日立工業専門学院(横浜)に入学。1年3ヶ月間給料付き缶詰教育をさせてくれた。

再び設計に戻り、途中会社が茨城県土浦市に移転。28歳の時独立を考えた。日立ではマイナーの北大、九州大などの技術者を集め5人で独立を計画。1年間武者修行で4人が中小企業に就職した。

②新宿の職安で紹介された恵比寿にある「竜東S/S」(伊那出身)に就職した。

当時の恵比寿は古い町工場が林立していた。当社は設計者採用は初めてで屋根裏部屋で設計をした。(投函の梱包機)下請けの製造会社の社長に図面の書き方を教えられた。

2回目のショック 製作する人は組立図をみて自分で作っていた。(200点もある部品)

しかし高円寺に住んで恵比寿に通うルートは途中新宿があり大変楽しかった。

③30歳で5人で独立した(今考えれば大変無茶だった)半年後結婚。1年後オイルショック(昭和48年)が起きたが仕事は順調で8人になった。結構優秀な会社で特に日立の子会社から引き合いが多かった。そのうちに不況が響き日立から仕事が来なくなり、種々の会社から仕事をとった。アンブル整列機、口紅ケース製造機等、すごかったのは新幹線歪取り検出器で成功。その内にアンブル製造会社(大手)が倒産。売上回収できず、仕事の詐欺にあった。この後ろ向きな対応に奔放し、仕事が取れず人もいなくなり、最後に残った社員と相談し廃業した。4年間ご苦労さん。(借入が出来ないから倒産無)失敗の原因はエンジニアの集まりであったこと。経営を知らなすぎた。守るに全く弱かった。

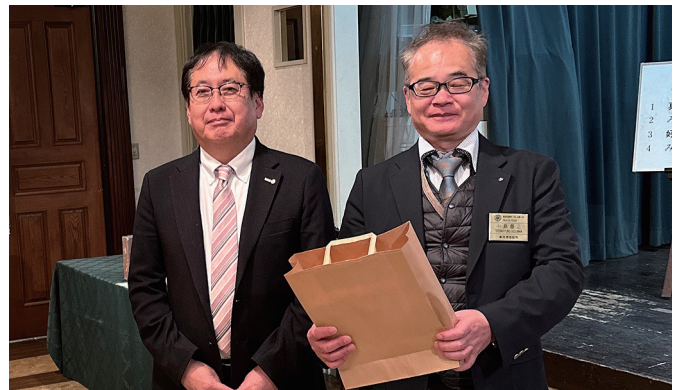
④34歳で岡谷にUターンした。(逃げ帰ったのではなく)

3回目のショック 故郷は結構厳しかった。良い人達ばかりだが話し方も行動も厳しい人が多く、茨城とは違った。今は慣れているが、当時は理論好きが多く決めるのに大変だった。

■再起する為に

先ず営業を知ろうと小さな商社に入社。物を売る楽しさを覚えた。塗料とか工業用繊維、油を販売。一番儲かったのは排油販売。経済も勉強した。2年目で長瀬産業に独立しないかと引張られた。3年後IDSを設立した。

■最後に「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」上杉鷹山



◆ラッキーナンバー・ニコニコBOX・出席報告

■ラッキー No.47 小島善之会員

ニコニコするメッセージをお寄せ下さい

■ニコニコBOX 41,000円

■出席報告

会員数 50名 出席 32名 欠席 18名

出席率 64% 前々回訂正 85.7%

今週のプログラム 3月18日(火) PM6:30

メモリー/2クラブ合同夜間例会

次週のプログラム 3月24日(月) PM0:30

マリオ/卓話 講師:山田 雄一さん